

## いよいよこれから はじまる第二章

毎日、暑い日が続いていましたが、昨日今日と30℃を下回り、何やら梅雨に戻ったような様相。

九州に続いて東北や北陸では局地的な激しいによる水害。地球は本当に大丈夫なのであるうか、と本気で考えてしまう。

さて、先月号でもふれた京都大学 大学院工学研究科 木村亮研究室による研究報告会が無事6月28日に開催された。

建設業界紙の方々にもご列席頂き、翌日の紙面にて取り上げて頂いた。澤村先生からご丁寧な研究成果を発表頂きましたが、木村先生にはユーモア溢れるオープニングスピーチと、それよりなにより研究会終了後に記者の方々を交えての立ち話がとても「急所」と言いますか、正にポイントをついたコメントを多々して頂きまして、今後も継続されるセルドロン研究に記者の方々にも興味を抱いて頂いたと感じている。

今後も継続してセルドロンの特性研究と、そして何より工法の開発を木村亮研究所と青木あすなる建設と進めて行くことになるが、ポイントポイントで同様な報告会を開催して頂き、数多くの発信をして頂ければという、大きな期待を抱いている。

報告会の後、木村先生からのご提案もあつて、会場となった京都大学吉田キャンパス内にある1917年に建設された土木の発祥の地と言われている「土木工学教室本館」前で集合写真を撮って頂きました。

自分含めて、皆様がとても良い顔で写っているのが印象的なワンショットで、一生の思い出として大切に持っていたいと思っっている。



そして、ここにまた大きな朗報が届いた。愛媛県にて県庁が定めている

「**新商品生産により新事業分野開拓者認定制度**」においてセルドロンが認定されたこれは大きな第一歩であり、今後、愛媛県下の土木事業においてセルドロンが採用される機会が増えるであろうことを意味しているし、他自治体への横展開の大きな材料になり得ると大いに期待している。

この様に、大きな成果が生まれた猛暑の2017年7月であった。

まさに、セルドロン事業**第二章**の幕開けである。

# 残コン技術フォーラム全国ツアーに参戦中!

# 全国で開催中!!

今年度内に全国四十七都道府県で実施することになりセルドロンも残コンを改善する商材として紹介しています。七月の開催でメーカーとして参加することが出来たのは、新潟県・宮城県・愛媛県の三地域。それぞれ主催するのは、G2M(元気な生コンネットワーク)に加盟している生コンクリートプラントで、その地域の生コンクリート協同組合に声をかけて頂いたり、ポンプ圧送会社などがメインで参加しています。その地域の有益な新しい技術を独り占めするのではなく、同じ事業をしている隣の生コンクリートプラントにも紹介している時点で「残コン問題」は良い方向に向かっていくのは間違いないと思います。誰かが処理するのではなく、全員で革命を起こし、近い将来「残コン」がなくなる、もしくは「残コン」が足りなくなる時代が来るかもしれないと期待しています。セルドロンも毎度おなじみのように、残コンに混ぜてパラパラになり、処理の簡素化をアピールさせて頂きました。八月も十会場前後開催される予定です。



新潟会場



愛媛会場



(佃公園)

## 佃公園完成!

## 「東京都中央区での初めてセルドロン案件」

セルドロンを使用頂いた、佃公園が完成しました。浚渫土にセルドロンを混合し、重機が入り込めるような強度の土に改質し、土の上に水が落ちてきても、生物に問題がないというとてもセルドロンに適した現場でした。すぐに魚の群れが繁殖しており、鳥も魚を取りに来ておりました。生物に問題ないことが実証されております。

訪問日に釣りをしている方がいましたので声をかけたところハゼが釣れるそうです。久しぶりにハゼの天ぷらが食べたい今日この頃。今回で「現場を勝手に見学シリーズ」完結です。

## セルドロンの案件依頼情報

### ◇杭残土案件

中堀杭を打つ際に発生する掘削残土がゆるく処理が出来ない。元々は残土処分設計に入っていたが、水分を含んで汚泥処分になるようです。セルドロンが使えればと問い合わせがあり、協議をいただいている最中です。

### ◇浚渫土

処分費が高くて困っている現場です。セルドロンで改質することにより、安価で処理できるのではないかと問い合わせを頂きました。こちらも現在協議中です。



## キム・ギヨンのカラオケコーナー

実は、私はカラオケが大好きです。カラオケにも韓国と日本の似ているながらも違ったところがあると思います。

その中の一つは日本のカラオケは時間によって料金も違うしドリンクを含めることなど、様々な料金が存在します。

韓国のカラオケは日本とは違って時間による料金の変化ようなものはありません。大半が1時間当たりの料金だけです。

しかし、韓国のカラオケは無料で時間を追加してくれるサービスタイムが存在します。

韓国と日本のカラオケの他の違いでは日本のカラオケはチェーン店がたくさんあるという点です。

韓国のカラオケはチェーン店がほとんどなので日本とはちよつと違う感じですね。

ちなみに、私はカラオケでカンナムスタイルをよく歌います。

\*原稿の原文そのままを掲載しております。